

記者発表資料

令和4年度 横浜国道事務所の事業概要

～圏央道(高速横浜環状南線・横浜湘南道路)の整備を推進します～

横浜国道事務所では、首都圏中央連絡自動車道、東京湾岸道路等の整備や道路の管理を行っています。令和4年度は、約395億円(受託工事費・維持管理費等を除く)で事業を推進します。主な事業は、以下のとおりです。

《主な事業内容》

■ 国道468号 首都圏中央連絡自動車道(圏央道)〈R4事業費:292.90億円〉

・ 金沢～戸塚【高速横浜環状南線】

調査設計、栄地区ほか用地買収、栄IC・JCT橋梁上下部工事及び栄・戸塚地区改良工事等を推進します。

・ 横浜湘南道路

調査設計、栄・藤沢地区ほか用地買収、横湘トンネル工事、小雀・藤沢地区橋梁上下部工事及び小雀・藤沢地区改良工事を推進します。

■ 国道357号 東京湾岸道路(神奈川県区間)〈R4事業費:8.92億円〉

調査設計、夏島地区改良工事を推進します。

■ 国道16号 追浜駅交通ターミナル整備事業〈R4事業費:0.89億円〉

調査設計を推進します。

■ 交通安全事業(I種)〈R4事業費:9.90億円〉

・ 国道1号 戸部地区歩道整備、国道357号 鳥浜町交差点改良 等

・ 国道1号 原宿交差点改良

令和4年度新規事業化

歩行者と自転車が安全・安心に通行できる、歩道及び自転車通行帯の整備等を推進します。

■ 電線共同溝事業〈R4事業費:17.94億円〉

調査設計、支障物移設、本体工事(引込連系管路工事等含む)を推進します。

※国道246号 厚木秦野道路〈R4事業費:53.08億円〉の事業については、横浜国道事務所及び川崎国道事務所にて協力して事業を実施しています。

発表記者クラブ		
竹芝記者クラブ／神奈川建設記者会／神奈川県政記者クラブ 横浜ラジオ・テレビ記者会／川崎記者クラブ		
問い合わせ先		
国土交通省 関東地方整備局 横浜国道事務所 〒221-0855 横浜市神奈川区三ツ沢西町13-2		
電話 045-311-2981(代表)		
副所長[改築]	菊池 正彦 (きくち まさひこ)	(内線204)
副所長[管理]	飯野 正樹 (いいの まさき)	(内線205)

令和4年度 横浜国道事務所 事業費

(単位:百万円)

事業名		R4事業費
改築事業		36,710
	国道468号 首都圏中央連絡自動車道(金沢～戸塚)	6,541
	国道468号 首都圏中央連絡自動車道(横浜湘南道路)	22,749
	国道357号 東京湾岸道路(神奈川県区間)	892
	国道246号 厚木秦野道路	※1 4,708
	国道246号 厚木秦野道路(伊勢原西～秦野中井)	※1 600
	国道246号 秦野IC関連	144
	国道1号 新湘南バイパス	40
	国道16号 追浜駅交通ターミナル整備事業	89
	国道16号 神奈川16号環境対策	245
	国道1号 神奈川湘南1号環境対策	64
	国道246号 神奈川県西部246号環境対策	67
	国道1号 川崎1号環境整備	515
	国道16号 横須賀地区トンネル改修	56
交通安全事業(Ⅰ種)	国道1号 戸部地区歩道整備 他8箇所	990
電線共同溝事業	国道246号 梶が谷(2)電線共同溝 他36箇所	1,794
合計		39,494

※1 厚木秦野道路、厚木秦野道路(伊勢原西～秦野中井)の事業については、横浜国道事務所及び川崎国道事務所にて協力して事業を実施しています。事業費については両事務所の総計を記載しております。

※2 上記の他、受託工事費、交通安全事業(Ⅱ種)、維持管理費、調査費等があります。

横浜国道事務所が実施・支援する主な事業



国道468号 首都圏中央連絡自動車道[金沢～戸塚]

(横浜市、鎌倉市)

令和4年度事業費:65.41億円

概要

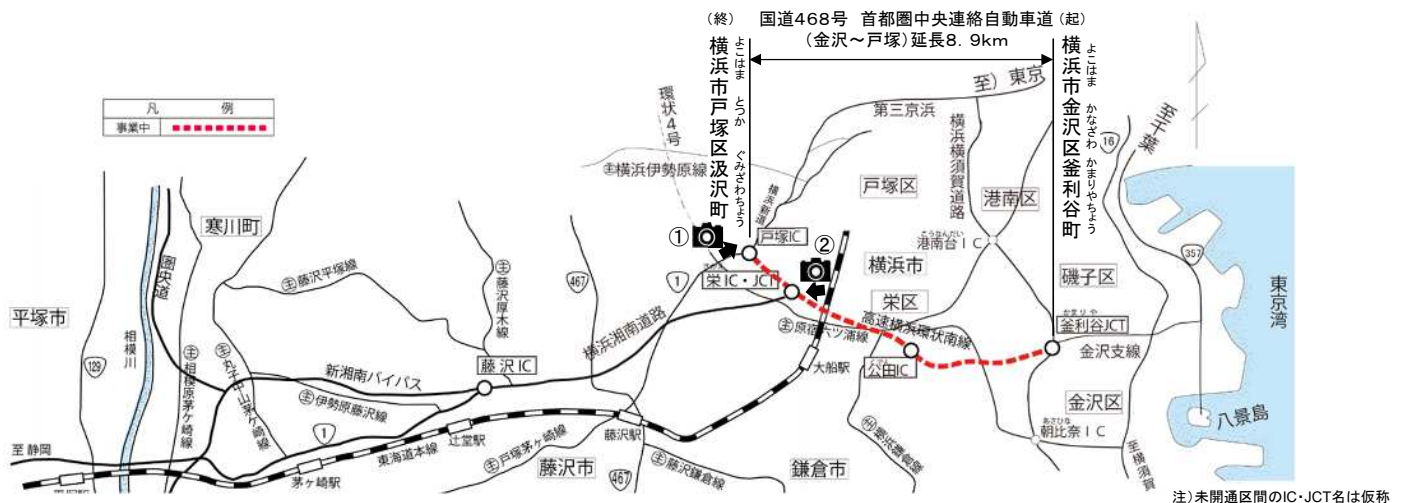
圏央道[金沢～戸塚]【高速横浜環状南線】は、横浜都心から概ね半径10～15kmの位置に計画された横浜環状道路の一部であり、横浜市内の交通の利便性向上や交通渋滞の緩和、地域拠点間の連絡強化、周辺地域の活性化に寄与することを目的とした道路です。

これまでの状況

横浜市金沢区釜利谷町～横浜市戸塚区汲沢町までの延長8.9km(一部事業は東日本高速道路(株)が担当)について、調査設計、用地買収及び栄IC・JCT橋梁上下部工事及び栄・戸塚地区改良工事等を推進しており、用地進捗率は約99%(令和4年3月末現在)となっています。

令和4年度の予定

調査設計、栄地区ほか用地買収、栄IC・JCT橋梁上下部工事及び栄・戸塚地区改良工事等を推進します。



注)未開通区間のIC・JCT名は仮称



①【戸塚IC(仮称)付近状況(令和4年4月撮影)】



②【栄IC・JCT付近状況(令和4年4月撮影)】

【開通の見通し】 釜利谷JCT ～ (仮称)戸塚IC間 「2025(R7)年度開通予定」

※高速横浜環状南線については、横浜国道事務所関係予算とは別に、財政投融資を活用して、整備加速を図ります。

国道468号 首都圏中央連絡自動車道[横浜湘南道路]

(横浜市、鎌倉市、藤沢市)
令和4年度事業費:227.49億円

概要

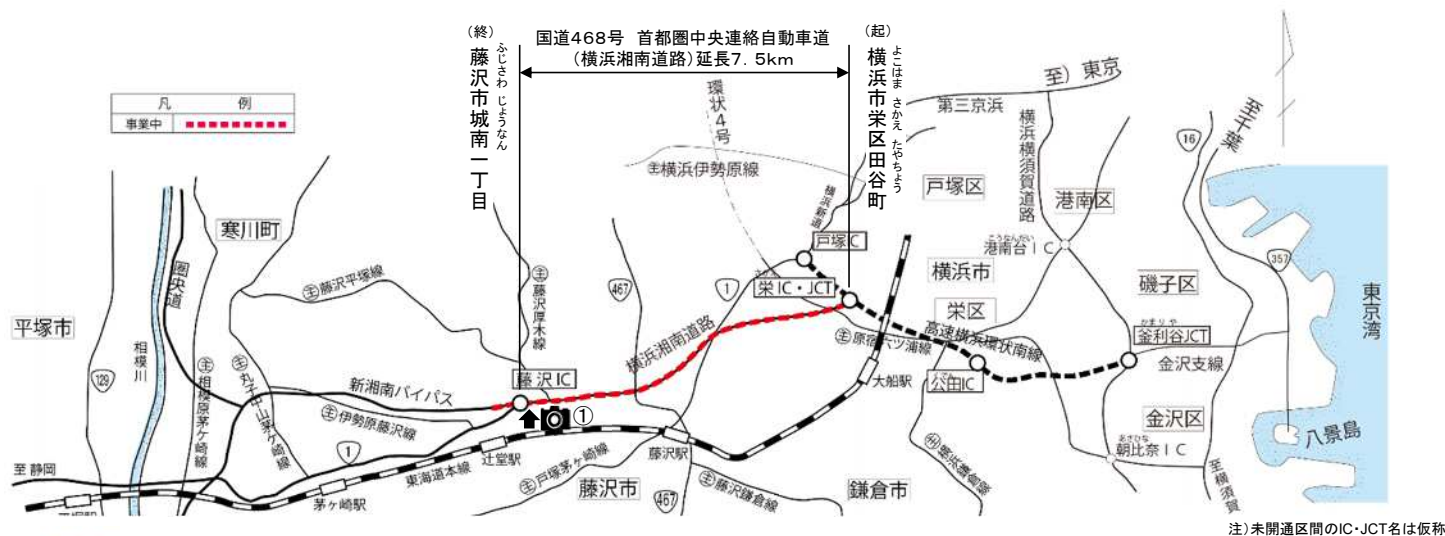
圏央道[横浜湘南道路]は、既に開通している区間の新湘南バイパス等と一体となって自動車専用道路のネットワークを形成し、広域的な交通の円滑化を図るとともに、地域交通の交通分担の適正化、国道1号の交通混雑緩和等に寄与する道路です。

これまでの状況

横浜市栄区田谷町～神奈川県藤沢市城南一丁目までの延長7.5kmについて、調査設計、用地買収、横湘トンネル工事、小雀・藤沢地区改良工事、小雀・藤沢地区高架橋橋梁上下部工事等を推進しており、用地進捗率は約99%（令和4年3月末現在）となっています。

令和4年度の予定

調査設計、栄・藤沢地区ほか用地買収、横湘トンネル工事、小雀・藤沢地区改良工事及び小雀・藤沢地区橋梁上下部工事を推進します。



①【藤沢IC付近状況(令和4年4月撮影)】



【トンネル工事状況(令和4年4月撮影)】

《開通の見通し》(仮称)栄IC・JCT ～ 藤沢IC間 「2024(R6)年度開通予定」

※横浜湘南道路については、横浜国道事務所関係予算とは別に、財政投融資を活用して、整備加速を図ります。

国道357号 東京湾岸道路(神奈川県区間)

(横浜市、横須賀市)
令和4年度事業費:8.92億円

概要

国道357号東京湾岸道路は、東京湾に面する千葉・東京・神奈川の各都市を結ぶ延長約80kmの幹線道路であり、東京湾岸道路の一部として位置付けられています。

本道路の整備により、都市内の交通渋滞緩和、空港や湾岸地域の物流拠点とのアクセス向上など、物流の効率化を図ります。

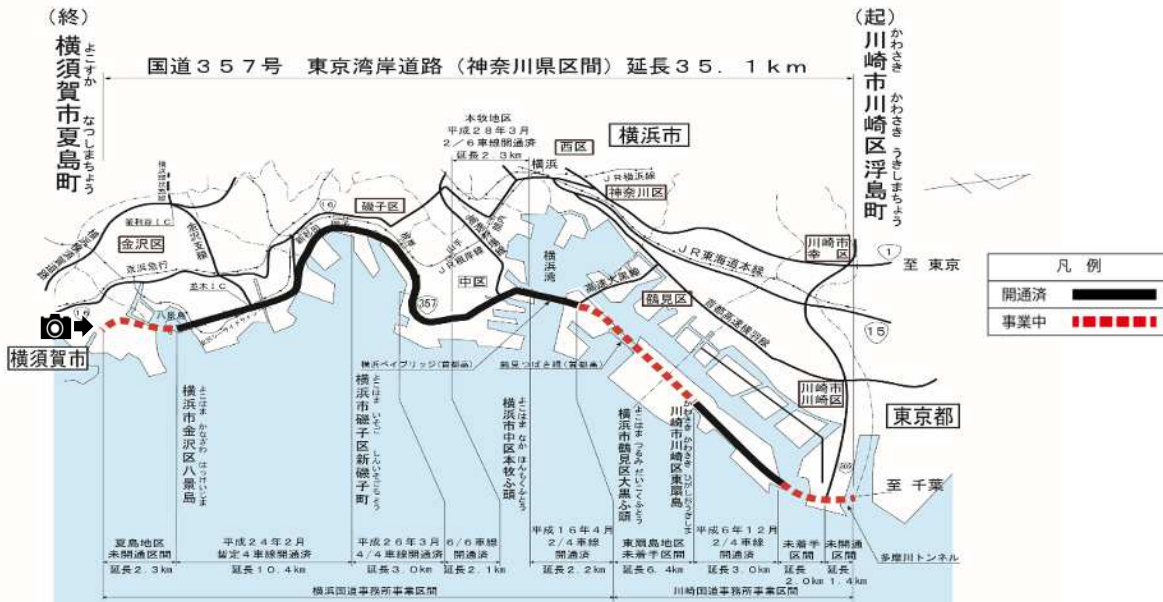
これまでの状況

国道357号東京湾岸道路(神奈川県区間)は、川崎市川崎区浮島町から横須賀市夏島町までの間の延長35.1kmの区間であり、そのうち当事務所は横浜市鶴見区大黒ふ頭から横須賀市夏島町までの延長22.3kmの整備を行っています。

本牧地区が平成28年3月に開通し、これまでに横浜市鶴見区大黒ふ頭から横浜市金沢区八景島までの延長20.0kmが暫定2~4車線で開通しています。また、夏島地区では令和3年3月に終点部の夏島交差点の左折レーンが開通しています。

令和4年度の予定

調査設計、夏島地区改良工事を推進します。



【夏島地区付近(令和4年2月撮影)】

国道246号 厚木秦野道路 あつぎはだのどうろ

(厚木市、伊勢原市、秦野市)

令和4年度事業費(厚木地区、伊勢原地区): 47.08億円

令和4年度事業費(伊勢原西～秦野中井): 6.00億円

概要

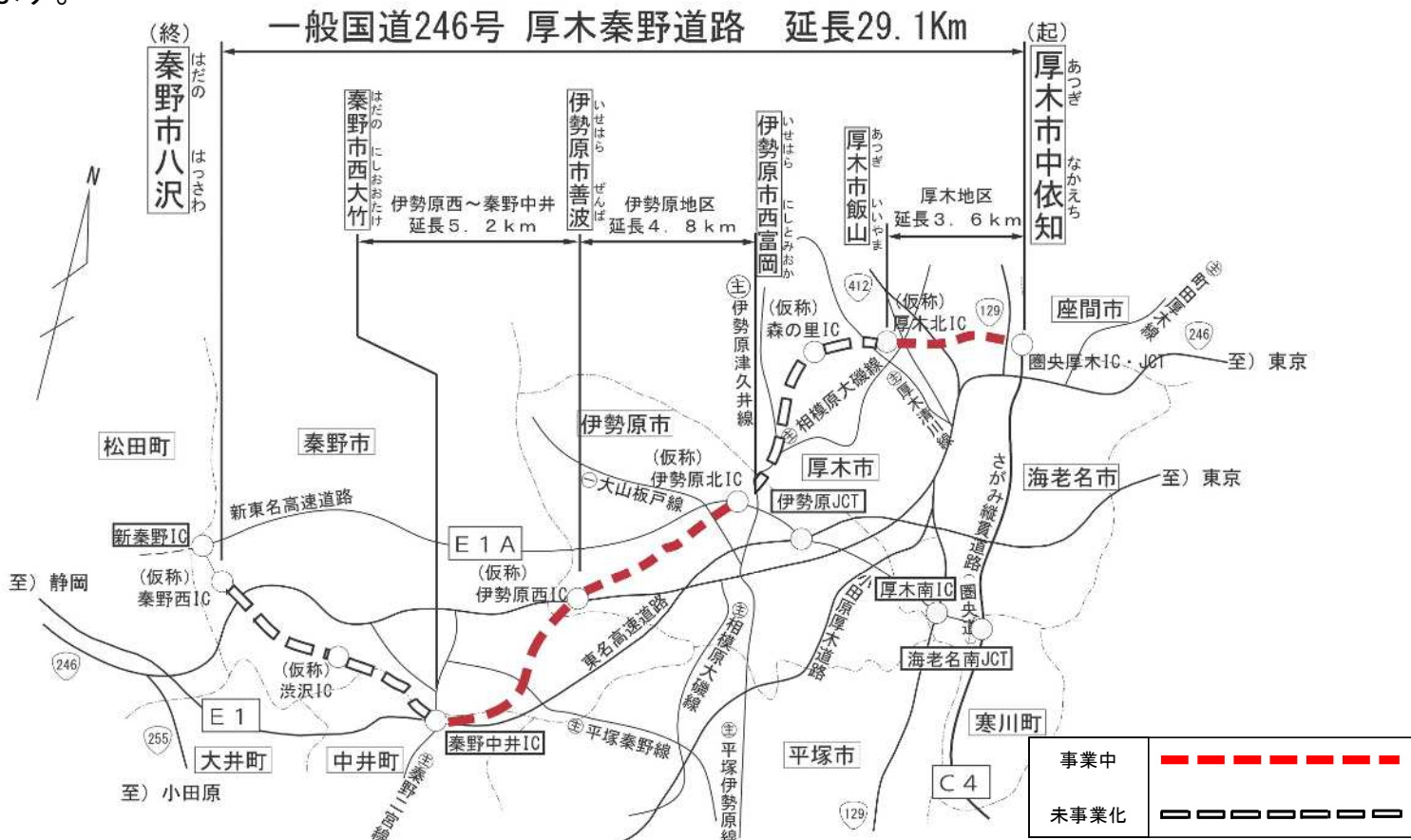
国道246号厚木秦野道路は、国道246号の交通混雑の緩和を図るとともに、東名高速道路、新東名高速道路、圏央道と相互に連絡し、県央地域の広域的なネットワークを形成するバイパス事業です。

これまでの状況

厚木地区においては、これまで調査設計、用地買収、埋蔵文化財調査、伊勢原地区においては、調査設計、用地買収、埋蔵文化財調査、改良工事、伊勢原西～秦野中井においては、調査設計、用地買収を推進しています。

令和4年度の予定

厚木地区は、調査設計、用地買収、埋蔵文化財調査、改良工事、橋梁下部工事を推進します。
なお、厚木市内においては用地国債制度を活用し、市による事業用地の先行取得を行います。
伊勢原地区は、調査設計、用地買収、埋蔵文化財調査、改良工事及び橋梁上部工事を推進します。
伊勢原西～秦野中井は、調査設計、用地買収を推進するとともに、善波地区の用地買収を推進します。



※厚木秦野道路の事業については、横浜国道事務所及び川崎国道事務所にて協力して事業を実施しています。

国道16号 おっぱまえき 追浜駅交通ターミナル整備事業

(横須賀市)

令和4年度事業費:0.89億円

概要

国道16号 おっぱまえき 追浜駅交通ターミナル整備事業は、分散するバス・タクシー乗降場の集約によるモーダルコネクト環境の整備を目的とした事業です。

えき・まち・みちが一体となった空間を官民連携で具体化し、モーダルコネクト環境の整備や、駅周辺の混雑緩和・交通円滑化、回遊性の向上、賑わい・魅力向上、防災機能の向上等のため、交通ターミナル整備及び国道上空の歩行者デッキ整備を進め、未来を見据えた駅前拠点の創出を目指します。

これまでの状況

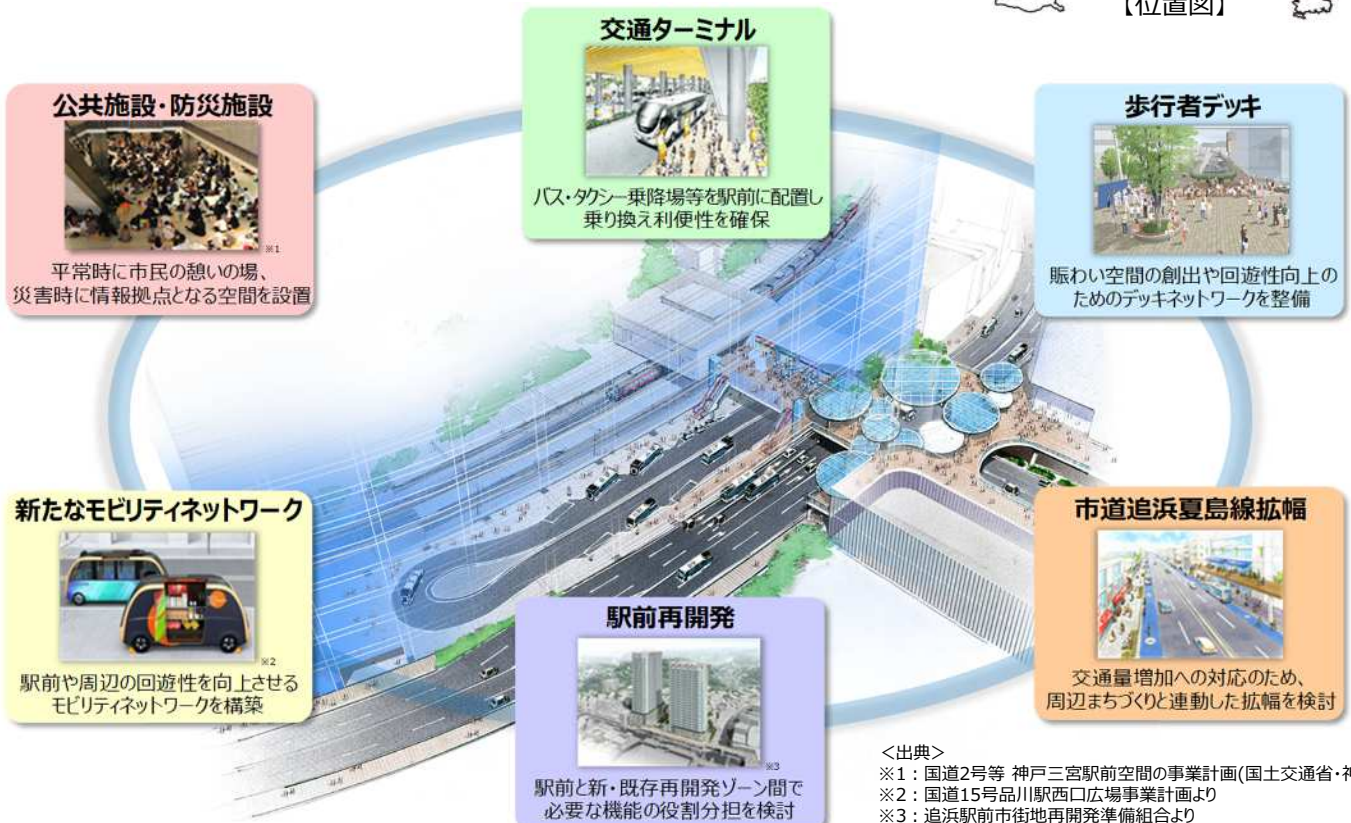
令和3年3月に新たな交通ターミナルの整備について「追浜駅交通結節点整備事業計画」をとりまとめ、令和3年11月に関連事業である「国道16号追浜駅前交差点改良事業」とともに周辺住民に対して地元説明会を開催しました。

令和4年度の予定

調査設計を推進します。

【事業概要】

- ・事業箇所: かながわけんよこすかしおっぱまちょう おっぱまほんちょう 神奈川県横須賀市追浜町3丁目～追浜本町1丁目
- ・面積: 約0.5ha
- ・事業内容: 交通ターミナル整備、歩行者デッキ整備 等



追浜駅交通結節点の将来の姿(イメージ)

国道1号 川崎1号環境整備

(川崎市)

令和4年度事業費:5.15億円

概要

国道1号川崎1号環境整備は、川崎市内の国道1号における歩行環境、自動車交通の円滑化、大気・騒音環境の改善など、道路と沿道が一体となったゆとりある「みち」と「まち」づくりを進めることを目的とした沿道環境整備事業です。

これまでの状況

川崎市幸区小向仲野町～川崎市幸区柳町間の延長2.8kmについて、環境対策を推進しています。

令和4年度の予定

調査設計及び改良工事を推進します。



【歩道整備前の状況】
(川崎市幸区遠藤町 下り線)



【歩道整備後の状況】
(川崎市幸区遠藤町 下り線)

国道16号 横須賀地区トンネル改修

(横須賀市)
令和4年度事業費:0.56億円

概要

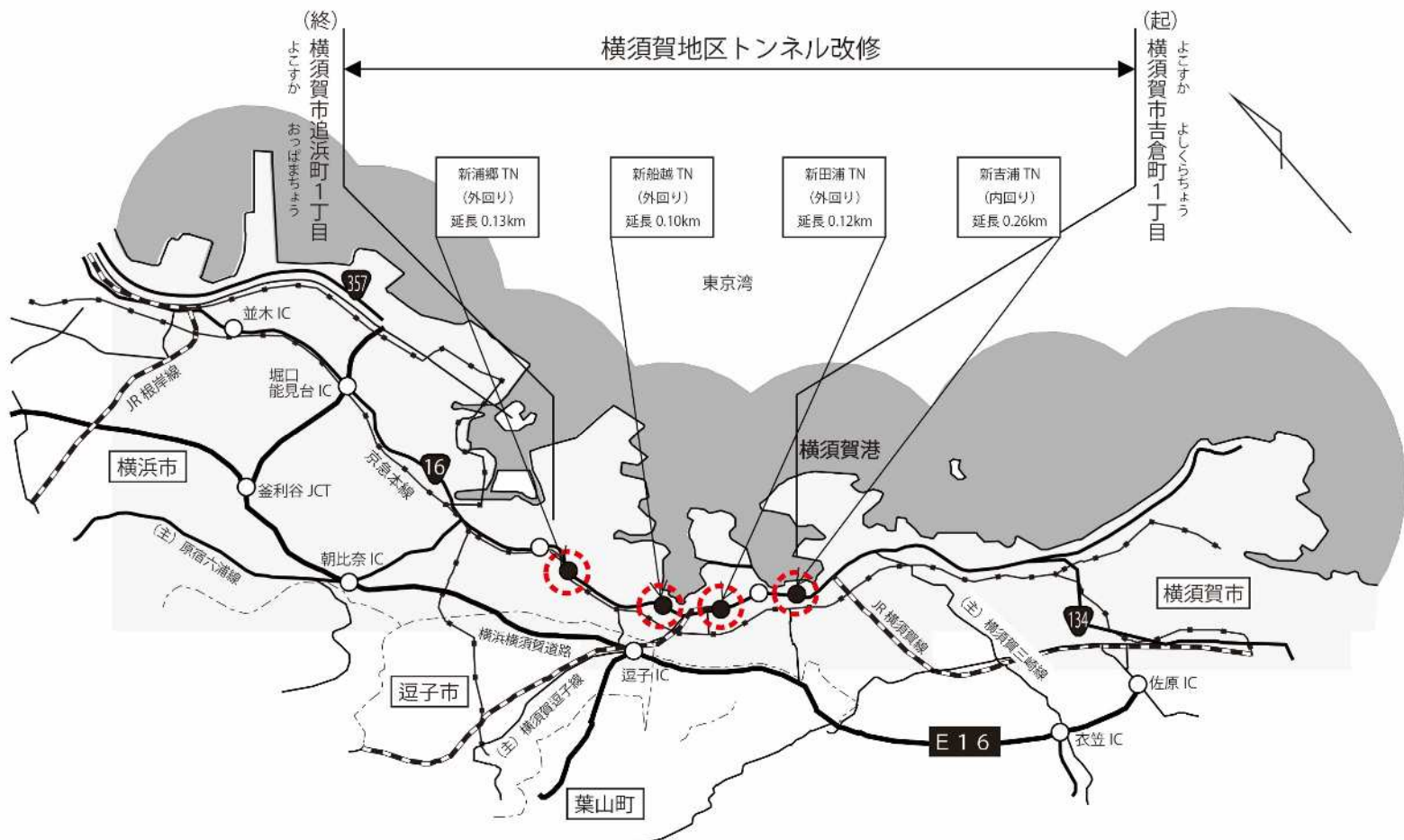
国道16号横須賀地区トンネル改修は、横須賀市内の国道16号における、老朽化が著しいトンネルのうち抜本的な対策の必要性が高いものを対象に、改修整備を行い交通の安全性の確保や円滑化を図るものです。

これまでの状況

横須賀市吉倉町1丁目～横須賀市追浜町1丁目までの間に存在する、新浦郷、新船越、新田浦、新吉浦トンネルの4カ所のトンネルにおいて、調査設計を推進しています。

令和4年度の予定

調査設計を推進します。



とべちくほどうせいび 国道1号 戸部地区歩道整備

(神奈川県)

令和4年度事業費:2.10億円

概要

本事業は、国道1号 よこはましにしくちゅうおういっちょうめ 横浜市西区中央一丁目から はまつちよう 浜松町までの延長約0.6kmの区間において、車道拡幅に合わせ歩道と自転車通行帯を整備するものです。

令和4年度の予定

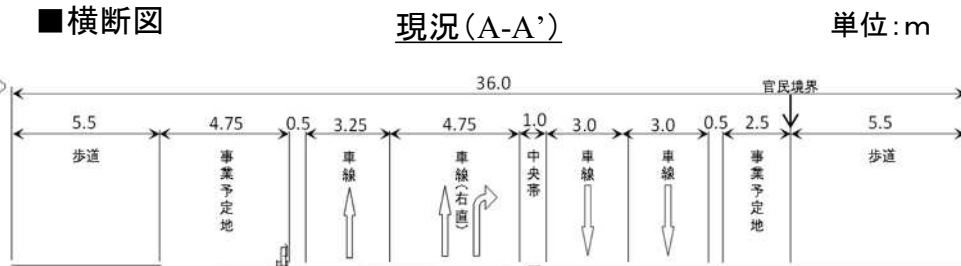
調査設計、用地買収及び工事を実施する予定です。

位置図

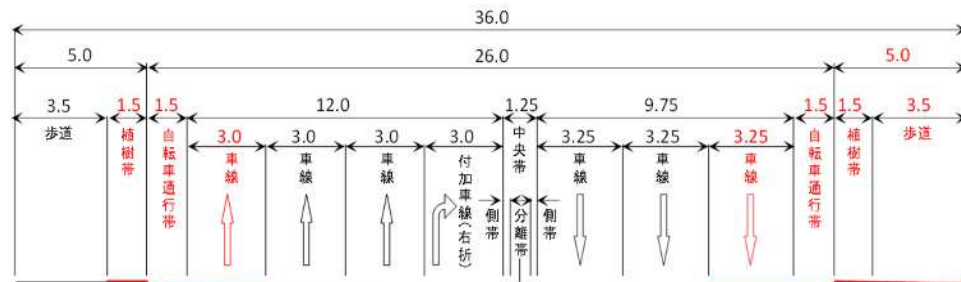


【国道1号 西区役所入口交差点歩道部利用状況(現況)】

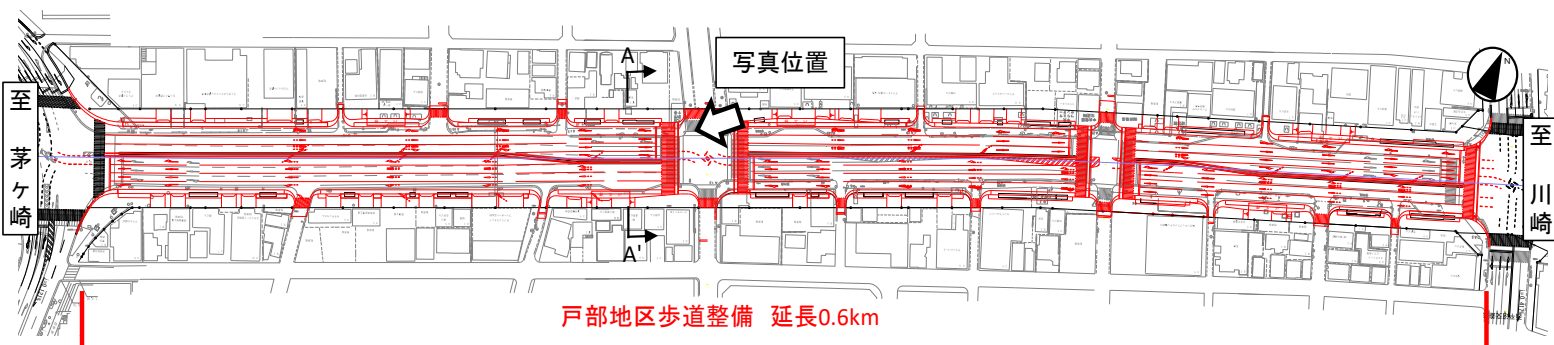
横断図



計画(A-A')



計画平面図



とりはまちょう
国道357号 鳥浜町交差点改良

(神奈川県)

令和4年度事業費:0.7億円

概要

国道357号鳥浜町交差点は、近傍の商業施設のリニューアルオープンにより、交差点に流入する右左折車両の増加が予想され、交通混雑の悪化による追突事故等の発生が懸念されています。

このため、左折レーン設置および右折レーンの延伸を行い、交通流の整流化を図ることで、追突事故等の低減を図ります。

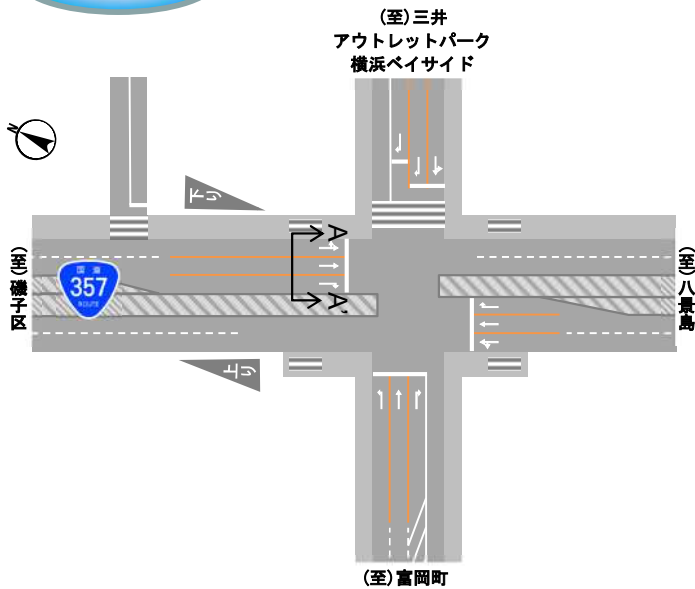
令和4年度の予定

調査設計、工事を実施する予定です。

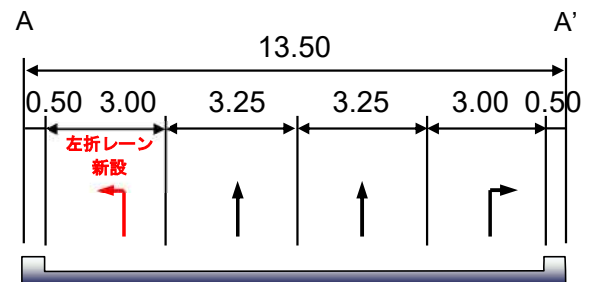
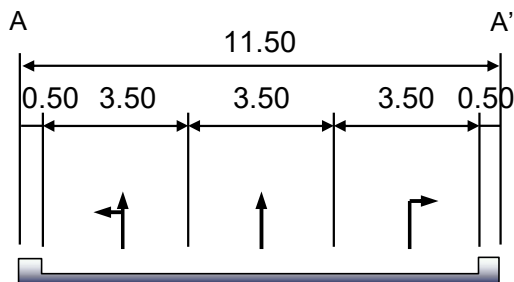
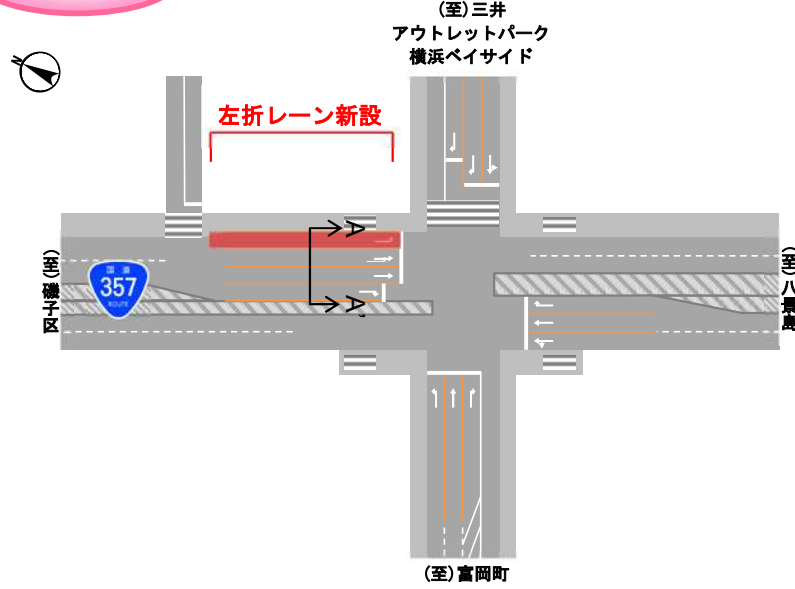
位置図



対策前



対策後



電線共同溝事業

令和4年度事業費:17.94億円

概要

電線共同溝の整備により無電柱化を図り、安全で快適な歩行空間の確保、都市景観や防災性の向上等を図ることを目的として整備を推進します。

令和4年度の予定

今年度も引き続き、調査設計、支障物移設、本体工事(引込連系管路工事等含む)を推進します。

【主な事業箇所】

国道 1号	<small>こくふほんごう</small> 国府本郷(2)電線共同溝
国道 246号	<small>かじがや</small> 梶が谷(2)電線共同溝
国道 357号	<small>しんいそご</small> 新磯子(3)電線共同溝

他34箇所

電線共同溝整備の事例 (国道357号 しんいそご 新磯子電線共同溝)

【整備前】



【整備後】



維持管理

概要

横浜国道事務所では国道1号、15号、16号、246号、357号、409号の6路線、延長約260kmを管理しており、道路を安全で安心して利用していただくため、巡回、清掃、路面補修などを実施しています。

また、高度経済成長期に集中して建設された道路ストックなどを中心に長寿命化等予防保全対策を実施します。



巡回
(落下物回収)



清掃
(路面清掃・排水施設清掃等)



路面補修

台風、集中豪雨、異常時の巡回や緊急処理を推進し、交通の安全確保を行います。

降雪時の凍結防止剤の散布や除雪作業を行います。



台風後の路面清掃
(国道1号西湘バイパス)



除雪作業
(国道1号箱根新道)

維持管理

維持管理に係る取組

横浜国道事務所では、沿道住民の方々、地元自治体、地元小学校、地元企業と協同して、維持管理に係る様々な取組を試行的に実施しています。

1) 除草・剪定の実施時期のお知らせの試行

除草・剪定の予定時期に関する問い合わせが多い地域を対象に、地域住民や道路利用者に対して、除草の予定時期を看板に記載し、お知らせしています。



国道1号 歩道部 (横浜市戸塚区)

2) 道路美化活動に係る啓発活動等

取り組み活動の様子



※令和2年2月5日実施

【国道15号川崎ハローブリッジにおける環境美化に対する啓発活動の例】

地元小学校の児童及び川崎市と協同して実施しています。

【^{かねだ}国道246号厚木市金田地先における清掃活動の例】

地元小学校のPTA、地元自治会、厚木市及び厚木警察署と協同して実施しています。

取り組み活動の様子



※令和2年10月17日実施

※この他、^{ひがしおおぎしま}国道357号東扇島地区でもクリーン大作戦を実施しています。

維持管理（老朽化対策）

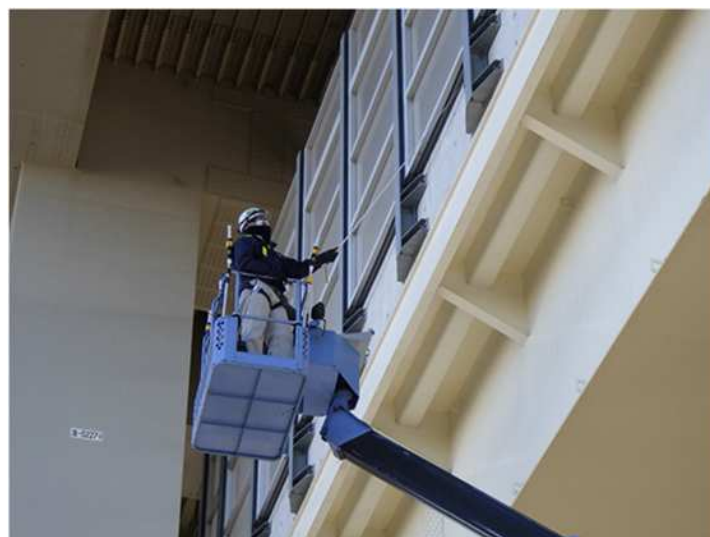
主な事業

重要な道路ネットワークの安全性・信頼性を確保するため、橋梁等を定期的に点検して、劣化や損傷が生じた箇所を補修し、長寿命化を図ると共に、第三者被害に対するさらなる安全性の確保のための橋梁補修を実施します。

橋梁点検状況（遠景）



橋梁点検状況（近景）



【国道357号 橋梁点検車における橋梁点検事例】

歩道橋補修 施工前



老朽化による
階段部の腐食

歩道橋補修 施工後



塗装塗替え
階段部再舗装

まつばら
【国道1号 松原歩道橋における補修事例】

災害対応

国道1号西湘バイパス（災害復旧）

被災の概要

- 日時：令和元年10月12日（土）
- 場所：一般国道1号西湘バイパス 大磯西IC付近 約400m（神奈川県中郡大磯町）
- 被害：土砂流出による路面下空洞、ガードレール等の倒壊 等
- 原因：台風19号による越波

位置図



被災直後の状況(西湘バイパス路面下の破損)



現場復旧状況(令和4年2月撮影)



補強土壁(護岸)の設置状況(令和4年2月撮影)



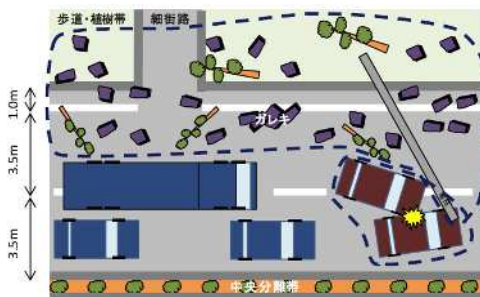
波除ブロック(仮設)の設置状況(令和4年2月撮影)

※平成29年度被災箇所の復旧工事についても、推進しています。

災害を想定した実動訓練の実施

横浜国道事務所においては、防災力の強化を図るため、大雪時、地震時などの災害を想定した建設機械等による車両移動の実働訓練を実施しています。

道路啓開イメージ



道路啓開前



道路啓開後

ゴージャッキによる 放置車両移動訓練

